観光社会資本の事例

テーマ 古川の町屋建築の景観を活かした街なみ整備

【施設の状況写真】



修景整備された街なみに合わせて、脱色アスファルト舗装を行い、統一感を持たせている。



古くからの建築様式(がんぎょう、出格子、雲肘木)等デザイン・ガイドラインに基づいて修景整備が行われている。

【施設の利用写真】



観光客の少ない冬季においても、伝統行事に地元住民だけでなく、大勢の観光客が訪れるようになった。



空き家店舗を修景整備し、土産物屋として再生した例で、 観光客の立ち寄りポイントとなっている。

【観光資源としての利用状況】

街なみ環境整備事業により修景整備された伝統的町屋建築、カラー舗装された道路や屋台蔵を中心としたポケットパーク等により形成される街並みは、古川の歴史・文化・技術を継承するとともに、伝統的行事・イベントの開催と相俟って、地元住民と観光客との交流を促進し、観光客にとって歩いて楽しめる観光スポットとして利用されています。

テーマ 古川の町屋建築の景観を活かした街なみ整備

【社会資本の基礎データ】

名称 古川市街なみ環境整備事業

所在地 岐阜県飛騨市古川地区

事業名 街なみ環境整備事業

事業主体 飛騨市

事業期間 平成8年度~平成22年度

【社会資本の役割・効果】

街なみ景観の向上

建物に対する修景助成を行うことで、伝統的な街なみを保存するとともに、統一的な街並みを形成することにより、街並み景観の向上に寄与している。

伝統的建築技法の継承

修景助成にあたってはデザイン・ガイドラインに基づ〈伝統的な建築技法(がんぎょう、出格子、雲肘木等)を用いることにより、伝統的建築技法が後世へ継承されている。

コミュニティーの形成効果

屋台蔵に併設したポケットパーク整備を行うことにより、地区を訪れた観光客と地元住民との交流促進が図られた。

防災性の向上

老朽化した空き家を除却することにより、良好な街並み形成が図られるとともに、市街地の防災性が向上した。

【関連ホームページ】 飛騨市役所 http://www.city.hida.gifu.jp/